※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０２

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	未来へつなぐ「家庭総合３６５」（教育図書）						
副教材等	未来へつなぐ家庭総合３６５マスターノート（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

よりよく生きるための知識や技術の習得に興味関心を持って積極的に取り組みましょう。

・衣食住など毎日の生活を科学的な側面からとらえ、労働や育児・介護などと地域社会の関わりが意識できるようにしましょう。
・自分の生活を考察し身近な人々の生活を観察しながら、実習などの実践的・体験的な学習活動も通じて、毎日の生活課題を見出すための基礎的な知識や必要な技術を身につけましょう。
・情報収集や分析・調べ学習などを行うことで、日常や社会の現状を知り今後の生活改善のめあてが立てられるようにしましょう。
・グループワークショップ、演習などの学習活動を行うことで、自分以外の人の意見を聞きながら、課題を自分ごととして結びつけましょう。
・学習したことをもとに、生活課題の解決に向けた努力をしながら、よりよい生活をめざしましょう。

２　学習の到達目標

(1)人の一生と家族･家庭を取り巻く生活の営みに関して、主体的に営むために必要な科学的理解を得るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につける。
(2)生活の中から課題を見いだし、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察を科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を通じて課題を解決する力を養う。
(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて男女が協力して主体的に自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活，衣食住などに関する基礎的・基本的な知識と技能を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現を工夫するなど、生活を創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	A編 第1章 生涯の生活設計1	①あなたの将来、どうする？ 1　人は一生発達する 2 これからの人生に何が起こるか 3　人生の課題を解決しよう	a：人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解するとともに、自立した生活を営むために、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解している。 b：生涯を通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察するとともに、これらについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身につけている。 c：生涯発達し続ける存在であることを理解し、これから起こる人生のライフイベントを想定し、目標をたて、そのための意思決定について主体的に取り組もうとしている。	テスト 学習ノート ワークシート	観察 テスト 学習ノート ワークシート 実習課題	観察 学習ノート ワークシート 振返りシート 実習課題
	A編 第2章 青年期の自立と家族・家庭	①自立への一歩を踏み出そう 1　あなた自身を知ろう 2 5つの自立 ②家族・家庭って何？ 1　家族を築くこと ③　将来の自分と家庭を想像する 1　現在の家族を取り巻く状況 2　男女共同参画社会 3　これからの家族と社会 4　人生や家庭生活で困ったときは	a：生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解するとともに、青年期の課題である自立や男女の平等と協力、意思決定の重要性について、情報の収集・整理が適切にできており理解している。 b：家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき責任をもって行動することや、男女が協力して家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察するとともに、これらについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題解決の力を身につけている。 c：　青年期に必要な自立について考え、日本の雇用環境など将来を見通した職業観を身につけ、男女共同参画社会の実現に関心を持ち、意欲的・主体的に取り組もうとしている。	テスト 学習ノート ワークシート	観察 テスト 学習ノート ワークシート 実習課題	観察 学習ノート ワークシート 振返りシート 実習課題

※令和４年度以降入学生用

夏休み	D編　ホームプロジェクト	生活上の課題を設定し，解決に向けて生活を科学的に探究したり，創造したりする	ａ：ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。 ｂ：　自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し，解決方法を考え、計画を立てて実践している。 ｃ：積極的に生活の課題を見つけ、その改善方法を考えて意欲的に発表し、実践を振り返り、さらなる学習へとつなげようとしている。〃	ワークシート レポート	観察 レポート （プレゼンテーション資料） ワークシート	観察 ワークシート レポート （プレゼンテーション資料） 振返りシート
２学期	B編　第２章衣生活と健康	①　衣服の役割って何だろう？ 1　衣服と私たち 2　衣服の機能 3　人の一生と衣服 4　衣服の安全上の問題 5　日本の伝統的な衣服 6　世界の文化と衣装 ②衣服はどうやってつくられている？ 1　衣服の材料 2　衣服のつくり ③自分で衣服をつくってみよう 1　衣服づくりの手順 ③　衣服の計画・管理を知ろう 1　衣服を選ぶ 2　衣服の手入れ 3　衣服の保管 ④　今後の衣生活を考えよう	a：衣生活を取り巻く課題，日本と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解をしている。身体特性と被服の機能及び着装について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した衣生活の計画・管理に必要な情報を収集・整理し、衣生活の自立に必要な技能を身につけている。 b：主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装や日本の衣文化の継承・創造について考察し、工夫するとともに、これらについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題解決の力を身につけている。 c：　人間の生活と衣服のかかわり、衣服のおもな機能について理解し、自分自身の衣生活の分析を通して、衣服や日常の衣生活の課題や衣生活が環境に与える影響について関心をもって考え、意欲的・体験的に取り組もうとしている。	テスト 学習ノート ワークシート	観察 テスト 学習ノート ワークシート 実習課題	観察 学習ノート ワークシート 振返りシート 実習課題

※令和４年度以降入学生用

３学期	Ａ編 第４章 高齢期の生活と福祉	①　高齢期ってどういう時期？ １　高齢者とは ２　高齢期の心身の変化 ３　高齢期の健康 ４　高齢期の生活 ②　高齢化する日本を生きる １　高齢化の現状 ２　超高齢社会の課題 ３　安心してできる暮らしを支える	ａ：高齢期の心身の特徴，高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深め、高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援について理解している。 ｂ：高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察し、高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方を工夫するとともに、これらについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題解決の力を身につけている。 ｃ： 高齢者の生活や、社会的な支援のあり方や現状を知り、人生の一時期として高齢期を捉え、自分の将来像としての高齢期について興味を持って主体的・意欲的に取り組もうとしている。	テスト 学習ノート ワークシート	観察 テスト 学習ノート ワークシート 実習課題	観察 学習ノート ワークシート 振返りシート 実習課題
	Ａ編 第５章 共生社会と福祉	①　共生って何だろう？ １　共生って何だろう。 ２ リスクに備えよう ②　ノーマライゼーションとは １ ノーマライゼーションの考え方	ａ：生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。家庭と地域とのかかわりについて理解するとともに、高齢者や障がいのある人々など様々な人々がともに支えあって生きることの意義について理解していること。 ｂ：家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもってともに支えあって生活することの重要性について考察するとともに、これらについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題解決の力を身につけている。 ｃ：共生社会の重要性について理解し、自助・互助・共助・公助による共生社会の実現のため、社会の一員として何ができるかを積極的に考え、意欲的に取り組もうとしている。	テスト 学習ノート ワークシート	観察 テスト 学習ノート ワークシート 実習課題	観察 学習ノート ワークシート 振返りシート 実習課題

※令和４年度以降入学生用

3学期	C編 第2章 消費生活と意思決定	① 何をどうやって買う？ 1 私たちの消費生活 2 契約の重要性 3 消費者信用のしくみ ②かしこい消費者になろう 1 消費者問題の現状と課題 2 消費者音問題にあったら ③ 3 消費者の権利と責任	a: 消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や責任ある消費の重要性について理解している。生活情報の収集・整理が適切にできている。 b: 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動できるよう考察し、責任ある消費について工夫するとともに、これらについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題解決の力を身につけている。 c:消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう、消費者問題や消費者の自立と支援、契約の重要性や消費者保護の仕組みについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したり、意欲的・体験的に取り組もうとしている。	テスト 学習ノート ワークシート	観察 テスト 学習ノート ワークシート 実習課題	観察 学習ノート ワークシート 振返りシート 実習課題
	C編 第3章 持続可能なライフスタイルと環境	①未来の地球環境は大丈夫？ 1 暮らしと環境問題 2 社会の取り組み ②私たちにできることは何だろう？ 1 持続可能な消費 2 行動し、発信しよう	a: 生活と環境の関わりや持続可能な消費について理解するとともに、持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。 b: 持続可能な社会へ参画することの意義について理解を深め、安全で安心な生活と消費及び生活文化について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に持続的な社会を目指したライフスタイルの工夫について論理的に表現するなどして課題解決の力を身につけている。 c: 持続可能な社会を目指して行動できるよう、安全で安心な生活と消費及び生活文化について、ライフスタイルの工夫に主体的に取り組んだり、振り返って改善したり、意欲的・体験的に取り組もうとしている。	テスト 学習ノート ワークシート	観察 テスト 学習ノート ワークシート 実習課題	観察 学習ノート ワークシート 振返りシート 実習課題

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度